

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学学部 国際社会科学学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 チュラロンコン大学 コミュニケーションアート学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 8月 5日 ～ 2020年 5月 30日 出国日 2019年 8月 2日 最終帰国日 2020年 4月 4日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学でもともと外向的な性格ではありましたが以前よりもっと社交的な人間になりました。私は数回海外に住むことはあったのですが、どうしても外国人となると緊張してしまってあまり話せないということがありましたが、今回の留学で克服できたと思っています。

授業については大変でした。学習院ですでに習っていたような授業はあまり苦労しませんでした。が全く新しい分野を学ぶのには本当に苦労しました。「タイの東大」と評されるだけあって授業は1回1回とても濃厚で高度な難しいものが多かった。事前に知識があるものを受講しないと確実においていかれてしまいます。日頃からいろんなものに興味を示して学んでおけばよかったかなと思います。

良いも悪いもたくさんの出来事があり、時には生活面や南国特有ののんびりしている事務や機関などに振り回されることもたくさんありましたが事前情報がほとんどない学校だったので自ら開拓していく志で留学したおかげで留学が終わって何よりも「達成感」を感じています。毎日楽しく過ごせて、悔いのない留学できて良かったです。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

特にありません。なんでもタイではそろいます。ビザなどの情報も複雑ではあります。インターネットで検索すればすぐ出てきます。強いていうのなら、住居について調べておくことをお勧めします。学校の寮は入れないこと多く、また学生からの評価もよくないです。

（ゴキブリがよく出たり、掃除スタッフの対応の悪さなど）そのため学校の寮ではなく普通のマンションに住んでいる生徒が多かったです。学校の寮よりもはるかに安くてサービスのいい場所はたくさんあるので探しておいていいと思います。場所によっては留学生がほとんどのマ

ンションなどもあり、寮だけど寮じゃないというようなマンションもありました。またそのようなマンションに住む際は建物ごとに住民の特徴やパーティの頻度なども変わるのでぜひ調べてみてください。(日本語では出てこないのので英語で検索してみてください)

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業では先生が作ったプレゼンテーションを聞くという感じです。しかし先生によってはプレゼンテーションを配布してくれず勝手に写真を撮ってという人もいます。なので、授業中は配布してくれる教授の授業ならプレゼンテーションに必要な情報を付け足し、配布してくれない授業では主に写真をとる事をメインにしています。

タイの東大と言われているだけあり、生徒は全員英語を流ちょうに話せるので授業の英語のレベルも普通に早く、難しいです。授業を聞く際は問題ないのですが、いざテストを受けると質問がわからないということが多々ありテスト中に困りました。日々の勉強の大切さを改めて痛感しました。また日本人とは違い積極的に発言をしたり、プレゼンテーションをこなしているの、皆の前で発言する勇気の必要さが想像以上に求められます。

またグループワークも多い学部なので、毎週放課後にあって作業をしたり、電話をしたりと学校の授業外での作業も多くあります。時には教授がもつ会社に行ったり、インターンの様なことをしに行ったりと大学以外でも活動することが多々ありました。

全体的にのんびりしていて、先生が30分ぐらい遅刻してくる日や生徒が終了20分ぐらい前に来ても歓迎されたり、遅刻に関しては緩いです。しかしいろんな国籍の先生がいるので遅刻に厳しい教授もいるので見極めが大切です。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

古くからある国立の学校という風貌です。決して新しくはないですがきれいです。また私が帰るころには大型工事をしていたので新しくてきれいな建物になると思います。

日本の大学と違い、1つの学部が学習院一個分ぐらいの敷地を持っていて無料のバスに乗って学部間を移動します。なので、受講する授業がどこの建物でやるのかをちゃんと調べておかないと、クラス移動で毎回遅刻してしまいます。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

無料でタイ語の授業がありました(単位あり)。教科書は200バーツ(600円)で丁寧に教えてもらい、日常会話は問題なくできます。初級と中級がありましたが、会話をするためにタイ語を学びたいのなら初級で十分です。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

イベントはありますが、開催時期が遅いです。「イベントで友達を作ろう！」というイベ

ントなのに開催が学期末だったりするのであまり頼りならないです。

生活のサポートは一切ありません。しかし日本以上に教授との距離感が近いので事務からは特にサポートはありませんでしたが受講していた授業の教授がよく連絡をくれました。

コロナウイルスの影響で国がロックダウンし、スーパーなどが締め、食事が買えないで困っている旨を相談したら、教授自ら私の家に食事を分けてくださり沢山助けてもらいました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特になし

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

とても安全です。夜中の2、3時に一人で歩いていても人通りがあります。「危なさそうな暗い道」みたいなものも特になかったです。しかし2020年に入ってから、発砲事件が何度かあり、私も20分前まで事件のあったショッピングモールにいたというようなことがありました。軍事政権に反発する動きも出てきているようでした。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

事務については何日も前から連絡を取っておくことをお勧めします。それでも近日にならないと行動をとらないので、そのことでたくさんの留学生が苦勞していました。

生徒は皆フレンドリーでこちらから話しかければすぐに友達になれます。また日本人＝アニメというイメージがあるのか「OOってアニメ知ってる？」とほとんどの友人に聞かれました。私も特段詳しいわけではないのですが有名な作品だけでも知っておくとさらに簡単に仲良くなれると思います。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
INTRODUCTION TO COMMUNICATION	
Thai language for foreigner 1	
STRATEGIC COMMUNICATION PLANNING AND EVALUATION	
Marketing Communication Management	
Principles of Marketing Communications	
Creative writing Print	
Imaginative Communication	
Basic Tv program Production	
Persuade and Negotiation	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他（ ）

(2) 家賃

月額（現地通貨）約 、（日本円）約 円

(3) 食事

食事付き（朝・昼・夕）／自炊／その他（料理をしない文化なので屋台で安く（30 円ほど）
ご飯が買えます）

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他（BTS）、計 20 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

4. 費用について

(1) 学 費

（現地通貨）約パーツ 14000パーツ、（日本円）約 42800 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他（5000パーツ）、（日本円）約 2 円

(3) 生活費

（現地通貨）月額・年額 約 3000 パーツ、（日本円）約 1 万円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他（ ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

カードはファーストフード店やコンビニでも使えます。しかし屋台を利用する場合は現金のみです。また屋台はコンビニよりもはるかに安いので結局現金の使用がメインになると思います。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

15 万円。

主に生活費として使用しました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

学研災

(2) 保険料

33 万円

(3) 加入した保険の種類、内容

(4) 感想、良かった点・悪かった点

特に大きな病気にもかからなかったので特に感想はありません。

コロナウイルスの影響で早く帰国した分は返済してくれたので良かったです。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

物干し竿。外に干す場所もなく、部屋干しでしたが部屋は外と同じく暑いので PM2.5 などもあるので部屋干しのほうが良いと思います。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

枕。家具付きのアパートに住んでいたので必要なかったです。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特になし。 なんでも安くそろいます。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

月曜日から金曜日まで毎日授業があるので、平日は遊びに行くとしても夕飯を友達と食べに行ったり、飲みに行ったりしました。しかし後期は案の定留学生がほとんど来ず、タイ人の友達と仲良くしていました。ただ後期はグループワークが非常に多く、学校が終わったら遊びには行かず宿題をやったり、家で一人過ごすことが多かったです。

(2) 週末

休日は毎週欠かさず誰かと出かけていました。タイのバンコク自体は新宿のようなものなのでそこまで見るものもなく、一日中遊ぶような施設もないので、郊外の山や海、外国に休日は行っていました。留学する前はこっちの大学のサークルに入ろうと思っていたが、どれもタイ人向けで、タイ語が話せないならお断りというサークルしかなく、当初は困ったが今となってはサークルに入って土日縛られることなく、こっちでできた友人たちと毎週出かけたられて逆によかったと思っています。後期は前期の反省を生かして木曜日と金曜日も全休だったので毎週 4 日間の休みがありました。おかげで行けなかった海や市場などにも行け、タイは一生分遊びつくしたと思えるほどにいろんなところに行きました。

8. 後輩へのアドバイス等

苦勞する頃もあるとは思いますが、日本人も多いバンコクはとても住みやすいです。日本人が多く住む駅に行けば歩いているだけで日本語が聞こえて、ホームシックを感じることはないでしょう。タピオカやパンケーキなども 100 円以下で食べれます。生活費に関しては毎月 2 万円あれば余裕で旅行にもいけるぐらい安いです。アジア圏なので近場ではありますが、そこを逆にアジア圏ならどこへでも週末に行けます。いろんな国を旅行してみたかったらタイはおすすめの留学先です。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

何かあればいつでもご連絡ください！